

クサガメの誕生記録

鳥井正男

665-0015 兵庫県宝塚市光が丘1-17-27

A case of *Mauremys reevesii* hatching

By Masao TORII

1-17-27, Hikarigaoka, Takarazuka, Hyogo, 665-0015, Japan

兵庫県にある姫路水族館では、毎年「カメの早朝産卵観察会」が行われているのを知り、カメ好きの私は早速、2013年6月23日に参加してきました。観察会では、水族館で飼育されている淡水カメが産卵する様子を観察できたり、砂場に埋まっている卵の卵掘り体験ができてたりしました。また、観察会後日には産下されたクサガメの卵5個を水族館から譲り受けました。今回、その卵がふ化するまでの様子を写真に収めることができましたので、ご紹介いたします。なお、今回ご紹介する卵は2013年6月9日に姫路水族園で産下されたものです。



1. 譲り受けた直後の卵です。卵はまだ半透明で、弾力がありました。



2. 産卵から57日目の卵。だんだん白濁した色になってきました。



3. 産卵から62日目の8月10日。殻にヒビが入ってきました。



4. 産卵から67日目の8月15日にふ化が始まり、手が出てきました。



5. 鼻先には殻を破るための小さな角(卵角)がみられました.



6. 数時間経過してもなかなか出てきません.



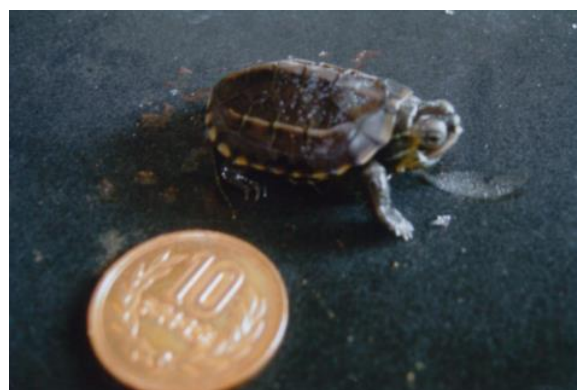
7. 手が出てから12時間後にやっと出てきました.



8. ふ化直後にはお腹に卵黄がついていました.



9. ふ化後3日目には卵黄は小さくなりました.



10. ふ化直後, 10円玉程だった子ガメの甲長は現在(2013年11月28日), 背甲長44mm, 腹甲長38mmになり, 現在も自宅で飼育中です.